

気候変動対応オペにかかる対象投融資に関する基準および 適合性の判断のための具体的な手続きの開示

当行は、日本銀行が行う気候変動対応を支援するための資金供給オペレーションの利用に際して、わが国の気候変動対応に資する投融資（以下「対象投融資」）と判断するにあたっての基準および適合性の判断のための具体的な手続きについて、次のとおり開示します。

I. 国際原則または政府の指針に適合する投融資

1. グリーンローン

(1) 対象投融資の基準

当行（庫・社）では、次に掲げる国際原則・政府の指針を基準として、これらに適合した投融資をグリーンローンと判断している。

- ・ 政府の指針（NFRA 基準）：中国の国家金融監督管理総局（NFRA）が定めるグリーンクレジット統計の範囲を基準としています。これには、省エネルギー・環境保護、クリーン生産、クリーンエネルギー、生態環境、グリーンインフラのアップグレード、グリーンサービス、国際的な慣行や基準を採用した海外プロジェクト、グリーン貿易金融、グリーン消費者金融の9つの主要セクターが含まれます。
- ・ 内部指針：「グリーンファイナンスの高品質な発展の推進に関する意見」を策定し、低炭素で環境に優しい分野への資金の流れを誘導するための差別化された政策サポートと管理を強化しています。また、エネルギー、建設、鉄鋼などの主要セクターをカバーするクレジット・ポリシーを策定し、禁止行為やコンプライアンス要件を明確に定義しています。

(2) 上記(1)の基準への適合性の判断のための具体的な手続き

上記基準への適合性の判断にあたり、第三者の専門機関を起用し、現場調査や書類審査を通じてデータの整合性を確認しています。

大手会計事務所等の第三者機関による独立した限定的保証を受けており、基準への適合状況を客観的に裏付けています

三つの防衛線 (Three Lines of Defense) による厳格な管理

第1線 (業務部門) : 発生源におけるリスク管理の意識と能力を強化し、投資・融資の現場において初期段階の ESG リスク特定と制御を担います。

第2線 (リスク管理部門) : 気候リスク管理のポリシーや基準を策定し、第1線に対して手法、ツール、トレーニングを提供します。また、独立した立場からリスク状況を監視・評価し、グリーン金融の意思決定において拒否権 (veto power) を行使することで、管理の有効性を担保します。

第3線 (内部監査部門) : グリーン金融政策の実施状況や管理プロセスの有効性について、独立した監査を実施します。

2. グリーンボンド (サステナビリティボンドを含む。)

(1) 対象投融資の基準

当行 (庫・社) では、次に掲げる国際原則・政府の指針を基準として、これらに適合した投融資をグリーンボンドと判断している。

- ・グリーンボンド原則 (国際資本市場協会<International Capital Market Association>)
- ・中国グリーンボンド原則 (グリーンボンド基準委員会)

(2) 上記(1)の基準への適合性の判断のための具体的な手続き

当行は、組織的なガバナンスと包括的なリスク管理プロセスを通じて、適合性を判断しています。

組織による監督: 上級管理職の下に設置された「グリーン金融 (ESG およびサステナブルファイナンス) 委員会」が、投資・融資活動全体における ESG リスク管理を監督・調整し、適合性を担保しています。

投資意思決定への統合: 気候要因を意思決定プロセスに組み込んでおり、デューデリジェンス、格付け、審査・承認、契約締結、投資後管理の各段階において、グリーンおよび低炭素の要件を組み込んでいます。

「三つの防衛線」による厳格な管理:

第1線（業務部門）：発生源におけるリスク管理の主体として、投資・融資の現場で初期段階の ESG リスク特定と制御を担います。

第2線（リスク管理部門）：気候リスク管理の基準策定や手法の提供を行うとともに、独立した立場から監視を行い、グリーン金融の意思決定において「拒否権（veto power）」を行使することで、管理の有効性を担保します。

第3線（内部監査部門）：グリーン金融政策の実施状況や管理プロセスの有効性について、独立した監査を実施します。

外部機関による客観性の確保:

データの正確性を期すため、第三者の専門機関を起用し、現場調査や書類審査を通じて炭素排出データ等の整合性を確認しています。

さらに、グリーンボンド残高や削減効果等の重要指標については、大手会計事務所による独立した保証を受けており、正確性を確保しています

3. サステナビリティ・リンク・ローン（気候変動対応に紐づく評価指標が設定されているものに限る。）

（1）対象投融資の基準

当行（庫・社）では、次に掲げる国際原則・政府の指針を基準として、これらに適合した投融資をサステナビリティ・リンク・ローンと判断している。

- ・ 政府の指針（NFRA 基準）：中国の国家金融監督管理総局（NFRA）が定めるグリーンクレジット統計の範囲を基本基準としています。これには、クリーンエネルギーやグリーンインフラ、低炭素化に資する海外プロジェクトなどが含まれます。
- ・ 国際資本市場協会（ICMA）の「サステナビリティ・ボンド・ガイドライン」等の国際原則に準拠しております。

（2）上記（1）の基準への適合性の判断のための具体的な手続き

- ・ 委員会の監督：取締役会の下に設置された「グリーン金融（ESG およびサステナブルファイナンス）委員会」が、投融資活動全体の ESG リスク管理を監督し、気候変動への適合性を担保しています。

- ・ 融資サイクル全体への統合: 気候および環境要因を、デューデリジェンス（事前の精査）、信用格付け、審査・承認、契約締結、融資後管理の各段階に組み込んでいます。
- ・ 運用ガイドの適用: 「中国工商銀行投資・融資グリーンガイド（試行）」に基づき、気候変動対策や炭素排出抑制を含む 8 つの主要分野に焦点を当て、詳細な ESG リスクの特定とアクセス基準を適用しています。
- ・ データの活用: 気候リスクデータベース（炭素排出量、炭素市場、ストレスシナリオ、ESG データ等を含む）を構築・更新し、定量的および定性的な評価を通じて適合性を測定しています。
- ・ 内部監査と検証: 内部監査部門（第 3 の防衛線）が、グリーン金融政策の実施状況や管理プロセスの有効性について監査を行い、目標への適合性を継続的にモニタリングしています。

4. サステナビリティ・リンク・ボンド（気候変動対応に紐づく評価指標が設定されているものに限る。）

(1) 対象投融資の基準

当行（庫・社）では、次に掲げる国際原則・政府の指針を基準として、これらに適合した投融資をサステナビリティ・リンク・ボンドと判断している。

- ・ 「サステナビリティ・リンク・ボンド原則」（国際資本市場協会<International Capital Market Association>）
- ・ 「サステナビリティ・ボンド・ガイドライン」（国際資本市場協会<International Capital Market Association>）

(2) 上記（1）の基準への適合性の判断のための具体的な手続き

- ・ ESG リスク管理の適用: グリーン金融（ESG およびサステナブルファイナンス）委員会の監督の下、投資活動全体にわたる ESG リスク管理を統合しています。
- ・ 意思決定プロセス: 気候要因を投資意思決定の核心に据え、デューデリジェンス（事前の精査）、格付け、審査、投資後管理の各段階において、グリー

ンおよび低炭素要件を組み込んでいます。

- ・ 指針の遵守: 「中国工商銀行投資・融資グリーンガイド（試行）」を基本文書とし、ESG リスクの特定、最低アクセス基準、およびグリーン分野の特定に関する運用ガイダンスを適用しています。

5. トランジション・ファイナンス

(1) 対象投融資の基準

当行（庫・社）では、次に掲げる国際原則・政府の指針を基準として、これらに適合した投融資をトランジション・ファイナンスと判断している。

当行では、以下の中国国内指針および独自の業界ポリシーに基づき、高炭素排出業界の低炭素化への移行を支援する投融資をトランジション・ファイナンスと判断しています。

- ・ 対象業界の特定: 化石エネルギー、鉄鋼、石油化学、非鉄金属、建築資材など、10の重要業界における省エネルギーおよび炭素削減のニーズに焦点を当てています。
- ・ アクセス基準: 各業界における最新の技術基準、アクセス標準、およびエネルギー効率目標への適合を基準としています。
- ・ 戦略的裏付け: 「カーボンピークおよびカーボンニュートラル目標下での投資・融資構造の改善に関する中長期戦略」に基づき、産業構造の低炭素転換を支援することを基準としています。

(2) 上記（1）の基準への適合性の判断のための具体的な手続き

- ・ 差別化された業界ポリシー: 17セグメント・50業界をカバーする「業界投資・融資ポリシー」を毎年策定・更新し、低炭素分野への資金誘導と、炭素集約型産業への抑制を差別化して管理しています。
- ・ 定量的評価: 企業の炭素排出量、エネルギー消費効率、技術レベルをクレ

ジット承認プロセスの重要検討事項として統合しています。

- ・ リスク監視: 気候リスクデータベースを活用し、炭素市場の動向やストレスシナリオに基づいた定量的分析を通じて、移行に伴うリスクを継続的に評価・モニタリングしています。

以 上